

ソロモン諸島における共生の現状と課題 「民族紛争」の事例を中心として

藤井 真一 氏
(日本学術振興会／国立民族学博物館)

コメンテーター: 今野 泰三 氏
(中京大学 国際教養学部 准教授)



日時 2019年11月29日(金) 15:00-17:30

場所 名古屋大学文系総合館306号室

参加費無料・どなたでもご参加いただけます

藤井 真一 氏

ソロモン諸島を研究地域としながら、「平和」という課題について調査研究を行う。主要な論文に、「ソロモン諸島における真実委員会と在来の紛争処理—紛争経験の証言聴取をめぐるグローバル／ローカルの緊張関係」(『文化人類学』82巻4号、509-525頁、2018年)、「平和実践としての逃げること—ソロモン諸島ガダルカナル島北東部の人びとによる二つの戦いへの対応」(『南方文化』43輯、1-19頁、2017年)、「ペル・ウル(*pelu ulu*)—紛争渦中で平和共存を実現する方法」(『未来共生学』2号、229-254頁、2015年)など。